

平成29年第12回狭山市定例教育委員会会議録

開催日時 平成29年12月20日(水)
午後1時32分から午後2時33分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 向 野 康 雄
教育長職務代理者 吉 川 明 彦
委 員 橋 本 秀 樹
委 員 宮 崎 英 子
委 員 後 藤 邦 江

欠席者 な し

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	滝 嶋 正 司	次長兼教育総務課長	杉 田 幸 伸
社会教育課長	田 中 肇 夫	中央公民館長	内 藤 光 重
スポーツ振興課長	五十嵐 和 也		
学校教育部長	井 堀 広 幸	参事兼教育指導課長	和 田 雅 士
教育センター所長	鈴 木 浩 明	書 記	吉 澤 俊 充

会議の公開・非公開 報告事項「人事案件（教職員の交代）について」は、個人に関する情報が含まれ、また、公にすることにより、意思決定の中立が損なわれるおそれがあることから、非公開とした。

傍聴者数 0名

報告事項

- ・平成29年第4回狭山市議会定例会の概要について

報告者（生涯学習部長）
（学校教育部長）

（要旨）

会期は、11月29日（水）から12月15日（金）までの17日間であり、議案は人事案件3件、新規条例1件、廃止条例1件、条例一部改正3件、指定管理1件、補正予算1件、和解案件1件及び区域変更1件合計12件である。教育委員会関係では、指定管理と補正予算、和解案件の3件であった。なお、いずれの議案についても可決された。一般質問については、16名で、うち教育委員会関係は8名であった。金子広和議員から学校給食費について、大沢え

み子議員から学校給食について、千葉良秋議員から教育の振興について、綿貫伸子議員から教育について、高橋ブラクソン久美子議員から教育委員会が管理している土地について、笹本英輔議員から学校教育について、望月高志議員から中央図書館について及び大島正教議員から学力を日本一に！放課後ナイトスクール実施等について、それぞれ質問があり、それに対する答弁の内容について報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、小学校の通学路に面し、認可保育園などが新設されていることがあるが、そういった場合、その保育園のお母様方の送迎と小学校の子供たちの通学時間の安全性に関して、どこに連絡すればよいのかとの話を聞くがとの質疑に、現在のところは保育幼稚園課かと思うが、今後、教育なのか否か棲み分けが必要になってくるかと考えている旨の答弁がなされた。現時点で保護者の不安を取り除く方法としては、まずは教育委員会に連絡を入れるということでよいかとの旨の質疑に、福祉部と認定子ども園等と細かな内容の話し合いが行われていないのが現状なので、今後、話し合いをしていきたいと考えている旨の答弁がなされた。

・第35回狭山市文化財防火デー防火訓練について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

平成30年1月27日（土）午前9時から、柏原白鬚神社を会場に防火訓練を開催する旨の報告がなされた。

・狭山市立公民館の夜間休館の継続実施について

報告者（中央公民館長）

（要旨）

夜間休館は、公民館の施設運営の安全面や経費削減を図るため、17時以降の利用予約のない日を17時で閉館とする取組で、平成29年1月から1年間試行実施した。実施状況については、全11館で実施し、延べ開館日2,686日のうちの580日、21.6%が夜間休館となった。これによる経費削減額については、指定管理館及び中央公民館を除く7館で、280万円程度であった。なお、利用者の反応としては、際立った苦情、要望はなく、また10月に実施した利用者アンケートにおいても、利用者の約8割の方が「理解できる」「少し理解できる」と、理解を得ている状況である。このようなことから、平成30年1月以降も夜間休館を実施する旨の報告がなされた。

・クロスカントリー in Sayama 2017の開催結果について

報告者（スポーツ振興課長）

（要旨）

12月10日（日）狭山稲荷山公園で開催した。埼玉県内はもとより1都12県から1,178人の申し込みがあり、新設したファミリーの部から

60歳以上のシニア男子の部まで、完走者1,061人という状況であった。

なお、運営には狭山市体育協会役員、スポーツボランティア、武蔵野学院大学陸上競技部など総勢172名の方々にご協力をいただき無事終了した旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、新設したファミリーの部について参加者から意見等があったかとの質疑に、直接意見は伺っていないが、親子で非常に楽しそうに走っていた旨の答弁がなされた。

・平成29年度第1回スクールカウンセラー活動状況調査について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

市内中学校に6人のスクールカウンセラーが派遣されている。西中学校、狭山台中学校、入間野中学校の3校が単独配置、他の5校が2人配置となっている。単独配置校が年45回、2人配置校が年23回から22回配置となる。1学期は延べ935件の相談があり、昨年比279件増となっている。昨年度は単独配置校が1校であったが、今年度2校増え計3校になったことも相談が増えた要因の一つであると考えられる。不登校、発達障害に関する相談が多く、教職員、さやまっ子相談員、さやまっ子相談支援員に対しての支援の方針等の指導助言が449件あった。さらに、保護者、子どもの面談も267件あった旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、単独配置校が増えたということであるが、単独配置の希望は他の中学校でも多いのかとの質疑に、毎年希望を出している中で、今年度2校増ということが県で認められた旨の答弁がなされた。狭山市は、3校が適当という県の判断かとの質疑に、相談数が増えればさらに県に要望していく旨の答弁がなされた。

・平成29年度中学生学習支援事業「さやまっ子・茶レンジスクール」冬季集中講義について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

市内全8中学校区において、12月25日（月）から27日（水）の3日間、塾の講師による数学と英語の講義を中学2、3年生に対して1時間ずつ実施する。今年度も、昨年並みの118名の参加申し込みがあった旨の報告がなされた。

・平成29年度狭山市小中学生英語フェスティバルについて

報告者（教育センター所長）

（要旨）

日ごろ学習している英語を使い自分のことを表現する場とすることと参加者と英語を通して積極的にコミュニケーションを図る機会とすることを目的に実

施する。日時は、平成30年2月3日（土）9時20分から12時30分、場所は狭山市立入間川小学校講堂である。対象は、市内在住の小中学生で、中学生には運営の手伝いとしてボランティアの参加も募る。内容は、英語の歌やスピーチ、英語劇などの発表と英語を使ったゲームを中心とした交流の2つとなる。参加予定者は、今年度は139名となっている旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、中学生の参加はとの質疑に、昨年度は、4名の参加であるが、現在のところはまだ申し込みはない旨の答弁がなされた。中学生は、ボランティアで参加ということであるが、発表の場でも中学生の参加を促してもらいたい。平成15年度から狭山市は、特区として英語教育を行っているので、小学生にとっても年齢の近い中学生の発表は刺激になるのではないかと思うので、是非、発表の場への参加を呼びかけてもらいたい旨の要望がなされ、中学生にも参加を一層呼びかけていきたいとの答弁がなされた。

- ・平成29年度狭山市立教育センター調査・研究事業 研究委員会研究発表会（中間発表）について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

今年度の発表会は、中間発表会として平成29年度、30年度の2カ年に渡る委嘱研究の現時点での成果と課題を発表することで、一層の授業改善や研究推進を図ることを目的として実施する。開催日は、平成30年2月16日（金）、場所は教育センターである。今回は、中間発表会であり参加対象を研究協力員に限っている旨の報告がなされた。

- ・各種審議会等の会議結果概要について

報告者（社会教育課長）
（学校教育部長）

（要旨）

平成29年度第3回狭山市社会教育委員会議、平成29年度第1回狭山市立博物館協議会及び平成29年度第1回いじめ問題対策連絡協議会について、その概要の報告がなされた。

- ・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（学校教育部長）
（社会教育課長）

（要旨）

教育指導課関係1件及び社会教育課関係3件の申請があり、審査の結果、使用許可を行った旨の報告がなされた。

- ・人事案件（教職員の交代）について

報告者（学校教育部長）

(要旨)

本市の西中学校教諭鹿島勝（57歳男性）が過日警視庁に逮捕された。当該教諭は、平成29年12月5日（火）都内で乗用車を運転中、警察官の職務質問を受け任意同行を求められ、同12月6日（水）警視庁管内の警察署で覚醒剤取締法違反の容疑で逮捕された。これに伴い、西中学校の社会科担当の教員に欠員が生じているため、非常勤講師を任用予定である旨の報告がなされた。

以 上